

水稻新品種「ふくまる」について

「ふくまる」は茨城県で育成した早生品種で、大粒、良食味で炊飯適性に優れており、「コシヒカリ」より多収であることから、県下全域を対象に普及拡大を推進しています。

※平成 24 年 9 月 12 日品種登録出願公表，平成 24 年 4 月 1 日準奨励品種採用。

<品種の特性>

- 成熟期は、「あきたこまち」より 4 日程度遅く、「コシヒカリ」より 7 日～10 日程度早い。
- 稈長は、「コシヒカリ」に比べて短く、倒伏に強い。
- 収量は、適切な肥培管理により「コシヒカリ」より 2 割程度増収する。
- 千粒重は「コシヒカリ」よりも約 3 g 重く、大粒である。
- 高温の年にも品質が安定（白未熟粒の発生が少ない）。
- 炊き増えが良く、冷めても粘りがあり、食味が低下しにくい。

平成 24 年産「ふくまる」の現地実証ほ結果（県内 10 ヶ所の平均値）

品種名	総施肥窒素量 (kg/10a)	稈長 (cm)	収量 (kg/10a)	同左比率 (%)	千粒重 (g)	白未熟粒 (%)
ふくまる	7.8	77	597	120	24.4	4.3
コシヒカリ	3.8	84	498	100	21.6	7.3

